

大垣女子短期大学 教育に関する基本方針

建 学 の 精 神	中庸を旨とし 勤労を尊び 職業人としての総合能力を有する 人間性豊かな 人材の養成						
教 育 理 念	品格をもとにした豊かな人間性と専門的な知識や技能を身につけ、それらを生かして社会に貢献して人々を支え活躍できる社会人としての女性を育成する。						
本 学 と 各 学 科 の 設 置 目 的	<p>本学は、教育基本法並びに学校教育法および私立学校法の定めるところに従い、建学の精神を基本理念とし、民主的にして、平和な国家社会の成員に枢要な広い教養を培うとともに深く専門の技芸を教授研究し、職業又は實際生活に必要な能力を有する女性を育成するとともに、その成果を広く社会に提供することにより、社会の発展に貢献することを目的とする。</p> <p>これにそって、次の5学科をそれぞれの学科目的をもって設置する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [幼児教育科] 専門的な知識と技能に基づいて、教育・保育と子育て支援にあたることのできる保育者の養成 2. [デザイン美術科] 造形表現力の助長とすべての学生生活を通して個々人の人間性の涵養 3. [音楽総合科] 広範囲な教養及び高度な専門知識、技術を身につけた有能な人材の育成 4. [歯科衛生科] 口腔保健・医療・福祉における専門的知識及び技術をもった人材の育成 5. [看護学科] 豊かな人間性を基盤に、看護に必要な専門的知識・技術・態度を身につけた有能な人材の育成 						
教 育 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一人ひとりの学生を大切に主体性と自律性を培う教育 (学生重視の姿勢) 2. 目標をもってそれぞれの専門的な知識や技能を学べる教育 (知識技能の修得) 3. 徳育を重視しながら知育・体育とのバランスのとれた教育 (徳・知・体の調和) 4. 自然や社会の環境と生命を大切にしてい感性を磨く教育 (環境と生命重視) 5. 地域社会への貢献をととして自己効力感を体得できる教育 (地域貢献の取組) 6. 各学科の特性を互いに生かし合ってつながりをもった教育 (学科交流の推進) 						
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 0 auto;"> <tr> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">幼児教育科</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">デザイン美術科</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">音楽総合科</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">歯科衛生科</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">看護学科</td> <td style="width: 16.6%; text-align: center;">共通教養教育(教養科目)</td> </tr> </table>	幼児教育科	デザイン美術科	音楽総合科	歯科衛生科	看護学科	共通教養教育(教養科目)
幼児教育科	デザイン美術科	音楽総合科	歯科衛生科	看護学科	共通教養教育(教養科目)		
全 学 D P	<p>大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与に関する全学共通でめざす人材の育成方針 (ディプロマポリシー) は、次の通りである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 考える力とコミュニケーション能力を身につけ、課題解決に主体性と自律性を持って取り組むことができる。 2. 人間にとって必要な徳性や知性を身につけ、健康な身体づくりをめざすことができる。 3. 専門的知識や技能・技術、一般教養などを身につけ、社会に貢献することができる。 4. 環境の重要性を認識し、これを思考や行動に活用することができる。 						

学 科 D P	<p>大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（幼児教育学）の学位を授与する。</p> <p>1.[保育者観]保育者として専門的知識・技能を持ち、子どもの健全な成長を見守り、子育て支援ができる。</p> <p>2.[知識・技能]子どもの健やかな成長のために様々な分野における教育・指導ができる。</p> <p>3.[保育実践力]保育現場における実務能力を身につけ、実践できる。</p> <p>4.[社会人基礎力]豊かな教養と人間性を備え、社会人としての幅広いコミュニケーション能力を身につけ、地域と連携し様々な課題に対応できる。</p>	<p>大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（美術）の学位を授与する。</p> <p>1.[表現力/技術、技能の習得]美術分野における表現力と表現技術に向上が見られる。</p> <p>2.[理解力、探究心]理論と実技を通し、美術分野への理解と関心に深まりがある。</p> <p>3.[集中力、持続力]集中力、持続力に向上がある。</p> <p>4.[発表、批評、社会性]美術表現より育まれた個の自信を基に、他者への尊重と交流、また地域との連携、貢献による社会認識の深まりが認められる。</p>	<p>大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（音楽）の学位を授与する。</p> <p>1.[基礎的知識・技能]音楽の専門知識と技術を修得する。</p> <p>2.[感受性]芸術に対する優れた感受性を持つ。</p> <p>3.[教養・人間性]音楽を通じて学んだ豊かな教養と人間性を備え持つ。</p> <p>4.[コミュニケーション能力]音楽を通じて人とコミュニケーションをとることができる。</p>	<p>大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（歯科衛生学）の学位を授与する。</p> <p>1.[知識・思考力]全身的観点から口腔の健康支援ができるための必要な知識を修得し、理解できる。</p> <p>2.[基本的技術能力]歯科衛生士としての基本的な操作的技術能力やプレゼンテーションする力がある。</p> <p>3.[コミュニケーション能力]歯科衛生士として他職種と協働・連携するチーム医療が理解でき、患者や地域社会とも関わるコミュニケーション能力がある。</p> <p>4.[自律性]医療人としての自己管理ができ、将来に向けての職業的使命感を持ち、自らが地域との連携や地域貢献を推進していく能力がある。</p>	<p>大垣女子短期大学の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）を前提として、本学所定の単位を修め、次に示すところの成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士（看護学）の学位を授与する。</p> <p>1.[知識・思考力]看護の基盤となる人間理解と看護実践に必要な知識を習得し、人々の健康問題の解決に向けて論理的に考えることができる。</p> <p>2.[看護実践能力]看護活動に必要な専門的技術・コミュニケーション能力・態度を身につけ、看護を実施できる。</p> <p>3.[協働・協調能力]チーム医療における他職種との協働・連携の必要性を理解し、保健医療福祉チームメンバーとしての看護職の役割およびリーダーシップの重要性を認識できる。</p> <p>4.[自律性]保健医療福祉関連分野の動向に関心をもち、人々の健康生活を守り、地域との連携、地域貢献を推進していくために自己の知識や技術等の向上をめざす主体的、探求的な姿勢をもつことができる。</p>	<p>【共通教養教育の目的】 共通教養教育における教養科目の履修をとおして、次のものを身につけさせるとともに確実に涵養する。</p> <p>1.[基礎的な知の基盤] 国際化や技術の進展など社会変化に対応していくための基礎的な知の基盤。</p> <p>2.[人間としての理解力] 人間としての在り方や生き方に関する深い洞察や現実を正しく理解する力。</p> <p>3.[知識技能・知的技法] どの専門分野にも共通に求められる学問的な知識や技能、思考方法等の知的な技法。</p> <p>4.[社会人に必要な力] 社会人に必要な基礎的コミュニケーション能力や社会生活の基本となる知識、技能および行動様式と就業力、学修成果を活用して地域との連携や地域貢献を推進していく能力等。</p>
------------------	--	---	---	--	--	---

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">学 科 C P</p>	<p>本学の建学の精神及び教育基本理念に示す人材を確実に養成していくため、教育方針に基づいて以下により教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 学生が主体的に学び、幅広い視野をもって知的基盤等を身につけられるよう、全学共通カリキュラムとして総合的な内容からなる「教養科目」を開講し、適切に選択・受講できることを目指す。 2. 専門的な知識と技能を体系的に学ぶために、各学科に「専門科目」を設置し、課題探求力や判断力を育てるとともに、豊かな知性と感性の育成を目指す。 3. 教養科目と専門科目においては、地域社会と結び付いた実践的な活動を取り入れるとともに、環境を重視し、社会性と協調性、その基盤となる自律性と品性の育成を目指す。 					
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="315 280 618 1394"> <p>豊かな教養と人間性を備え、子どもへの深い愛情を育むとともに幼児教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これらと実習や保育実務研修との往還で、より一層社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援にあたることのできる人材の育成を目的とし、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 子どもの健やかな成長、幸せのために地域と連携し様々な課題の解決や支援できる専門教育を実施する。 3. 実習や保育実務研修とかかる授業との往還によって、保育現場で必要とされる実務能力や実践力が身につく教育を実施する。 4. 保育のスペシャリストとして、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専修クラスを設置する。 </td> <td data-bbox="624 280 927 1394"> <p>生涯にわたる素養として「美術」の知らしめる価値観、更に自らを表現できる技能を定着させたい。その目標の下、美術の全体像を見失うことなく、基礎から応用発展へと繋がる科目及び科目群相互の連携を意図し、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 一年次前期に基礎領域全般を学ぶことにより、「美術」の概要を体験し、自己の適性を知る。 3. 描写系科目を造形表現の基本と捉え、関連科目を充実させ所定の単位数を必修とする。 4. 学生は関心に応じて他コース関連科目の受講が可能で、個性的履修計画を作成できる。 5. 広範囲なコンピュータ使用科目の開講に並行して、手を用い、素材を扱う体感教育も重視する。 6. 各科目担当者は学生との対話に努め、能力に応じた個別指導を行い、学生一人ひとりの成長を支援する。また社会との関わりの大切さ、必要性を考え、地域との連携を行う。 </td> <td data-bbox="934 280 1236 1394"> <p>音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通しての豊かな教養と人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を育成するために、以下の教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶために専門教育を実施する。 3. 地域社会に貢献し、コミュニケーション力を養うための学外演奏の充実と実施をはかる。 4. 音楽関係、心理関係等の資格取得を支援する教育を実施する。 </td> <td data-bbox="1243 280 1545 1394"> <p>豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成するため、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. すべてのライフステージにおける対象者の全身の医学的観点をふまえ、口腔の健康支援ができるための基礎教育と専門教育を実施する。 3. 専門化する歯科医療に対応し、さらに地域との連携や地域貢献を推進していく能力を身につけるため、育成専修クラスを含めた臨床・臨地実習等を実施する。 4. 国家資格取得を支援するための教育を実施する。 </td> <td data-bbox="1552 280 1854 1394"> <p>豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた看護の専門的知識・技術を身につけ、変化する社会のニーズに対応し広く貢献できる人材を育成するために、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 健康のあらゆるレベルにある対象者に適切な看護を実施するための基礎教育と専門教育を実施する。 3. 講義や演習で学んだことを臨床現場で統合し、対象に応じた看護を実施できる能力を身につけるとともに、地域との連携、地域貢献を推進していくための素地を身につけるために臨地実習を実施する。 4. 看護専門職として自らの興味・関心に沿って探求する研究的態度と自己学習できる主体性・自律性を高めるために設定した発展科目を履修する。また、講義等の展開においてはグループワーク、討論、ゼミナール形式等を効果的に導入する。 5. 国家資格取得を支援する教育を実施する。 </td> <td data-bbox="1861 280 2163 1394"> <p>共通教養教育においては、その中心となる教養科目を開講し、これを「教養基礎」と「社会人基礎」の2つに分類し、学生による適切な選択ならびに履修によって、めざしている力等の確実な定着や涵養に向けた学びが行えるよう、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「教養基礎」をさらに「人文」「社会」「自然」「総合」の4つに区分して、それぞれ主として専門分野に共通の基本となる学問的な知識、技能および思考方法を学び、基礎的な知の基盤づくりと人間に関して理解力を高める科目を開講する。 2. 「社会人基礎」では主として社会人に必要な基礎的なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる知識、技能および行動様式を身につけ、あわせて就業力等の育成を図るとともに社会変化に対応できる能力と学修成果を活用して地域との連携や地域貢献を推進していく意識や能力を高める科目を開講する。 3. これらの分類および区分を活用し、適切な選択と履修によって総合的な教養の確実な涵養を図ることができるよう指導・支援を図る。 </td> </tr> </table>	<p>豊かな教養と人間性を備え、子どもへの深い愛情を育むとともに幼児教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これらと実習や保育実務研修との往還で、より一層社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援にあたることのできる人材の育成を目的とし、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 子どもの健やかな成長、幸せのために地域と連携し様々な課題の解決や支援できる専門教育を実施する。 3. 実習や保育実務研修とかかる授業との往還によって、保育現場で必要とされる実務能力や実践力が身につく教育を実施する。 4. 保育のスペシャリストとして、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専修クラスを設置する。 	<p>生涯にわたる素養として「美術」の知らしめる価値観、更に自らを表現できる技能を定着させたい。その目標の下、美術の全体像を見失うことなく、基礎から応用発展へと繋がる科目及び科目群相互の連携を意図し、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 一年次前期に基礎領域全般を学ぶことにより、「美術」の概要を体験し、自己の適性を知る。 3. 描写系科目を造形表現の基本と捉え、関連科目を充実させ所定の単位数を必修とする。 4. 学生は関心に応じて他コース関連科目の受講が可能で、個性的履修計画を作成できる。 5. 広範囲なコンピュータ使用科目の開講に並行して、手を用い、素材を扱う体感教育も重視する。 6. 各科目担当者は学生との対話に努め、能力に応じた個別指導を行い、学生一人ひとりの成長を支援する。また社会との関わりの大切さ、必要性を考え、地域との連携を行う。 	<p>音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通しての豊かな教養と人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を育成するために、以下の教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶために専門教育を実施する。 3. 地域社会に貢献し、コミュニケーション力を養うための学外演奏の充実と実施をはかる。 4. 音楽関係、心理関係等の資格取得を支援する教育を実施する。 	<p>豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成するため、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. すべてのライフステージにおける対象者の全身の医学的観点をふまえ、口腔の健康支援ができるための基礎教育と専門教育を実施する。 3. 専門化する歯科医療に対応し、さらに地域との連携や地域貢献を推進していく能力を身につけるため、育成専修クラスを含めた臨床・臨地実習等を実施する。 4. 国家資格取得を支援するための教育を実施する。 	<p>豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた看護の専門的知識・技術を身につけ、変化する社会のニーズに対応し広く貢献できる人材を育成するために、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 健康のあらゆるレベルにある対象者に適切な看護を実施するための基礎教育と専門教育を実施する。 3. 講義や演習で学んだことを臨床現場で統合し、対象に応じた看護を実施できる能力を身につけるとともに、地域との連携、地域貢献を推進していくための素地を身につけるために臨地実習を実施する。 4. 看護専門職として自らの興味・関心に沿って探求する研究的態度と自己学習できる主体性・自律性を高めるために設定した発展科目を履修する。また、講義等の展開においてはグループワーク、討論、ゼミナール形式等を効果的に導入する。 5. 国家資格取得を支援する教育を実施する。
<p>豊かな教養と人間性を備え、子どもへの深い愛情を育むとともに幼児教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これらと実習や保育実務研修との往還で、より一層社会が必要とする保育者として、教育・保育と子育て支援にあたることのできる人材の育成を目的とし、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 子どもの健やかな成長、幸せのために地域と連携し様々な課題の解決や支援できる専門教育を実施する。 3. 実習や保育実務研修とかかる授業との往還によって、保育現場で必要とされる実務能力や実践力が身につく教育を実施する。 4. 保育のスペシャリストとして、自らの持つ能力を伸ばすことのできる専修クラスを設置する。 	<p>生涯にわたる素養として「美術」の知らしめる価値観、更に自らを表現できる技能を定着させたい。その目標の下、美術の全体像を見失うことなく、基礎から応用発展へと繋がる科目及び科目群相互の連携を意図し、教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 一年次前期に基礎領域全般を学ぶことにより、「美術」の概要を体験し、自己の適性を知る。 3. 描写系科目を造形表現の基本と捉え、関連科目を充実させ所定の単位数を必修とする。 4. 学生は関心に応じて他コース関連科目の受講が可能で、個性的履修計画を作成できる。 5. 広範囲なコンピュータ使用科目の開講に並行して、手を用い、素材を扱う体感教育も重視する。 6. 各科目担当者は学生との対話に努め、能力に応じた個別指導を行い、学生一人ひとりの成長を支援する。また社会との関わりの大切さ、必要性を考え、地域との連携を行う。 	<p>音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通しての豊かな教養と人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を育成するために、以下の教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 音楽を通して人間的な成長と専門的な知識と技術を学ぶために専門教育を実施する。 3. 地域社会に貢献し、コミュニケーション力を養うための学外演奏の充実と実施をはかる。 4. 音楽関係、心理関係等の資格取得を支援する教育を実施する。 	<p>豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成するため、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. すべてのライフステージにおける対象者の全身の医学的観点をふまえ、口腔の健康支援ができるための基礎教育と専門教育を実施する。 3. 専門化する歯科医療に対応し、さらに地域との連携や地域貢献を推進していく能力を身につけるため、育成専修クラスを含めた臨床・臨地実習等を実施する。 4. 国家資格取得を支援するための教育を実施する。 	<p>豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた看護の専門的知識・技術を身につけ、変化する社会のニーズに対応し広く貢献できる人材を育成するために、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな人間性、コミュニケーション能力、社会性を育むための教養教育を実施する。 2. 健康のあらゆるレベルにある対象者に適切な看護を実施するための基礎教育と専門教育を実施する。 3. 講義や演習で学んだことを臨床現場で統合し、対象に応じた看護を実施できる能力を身につけるとともに、地域との連携、地域貢献を推進していくための素地を身につけるために臨地実習を実施する。 4. 看護専門職として自らの興味・関心に沿って探求する研究的態度と自己学習できる主体性・自律性を高めるために設定した発展科目を履修する。また、講義等の展開においてはグループワーク、討論、ゼミナール形式等を効果的に導入する。 5. 国家資格取得を支援する教育を実施する。 	<p>共通教養教育においては、その中心となる教養科目を開講し、これを「教養基礎」と「社会人基礎」の2つに分類し、学生による適切な選択ならびに履修によって、めざしている力等の確実な定着や涵養に向けた学びが行えるよう、次のような教育課程を編成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「教養基礎」をさらに「人文」「社会」「自然」「総合」の4つに区分して、それぞれ主として専門分野に共通の基本となる学問的な知識、技能および思考方法を学び、基礎的な知の基盤づくりと人間に関して理解力を高める科目を開講する。 2. 「社会人基礎」では主として社会人に必要な基礎的なコミュニケーション能力や社会生活の基本となる知識、技能および行動様式を身につけ、あわせて就業力等の育成を図るとともに社会変化に対応できる能力と学修成果を活用して地域との連携や地域貢献を推進していく意識や能力を高める科目を開講する。 3. これらの分類および区分を活用し、適切な選択と履修によって総合的な教養の確実な涵養を図ることができるよう指導・支援を図る。 	

<p>全学AP</p>	<p>教養を基盤とした専門知識と技術をもって広く社会貢献することに積極的に取り組み、自己の知性と感性を磨いて、自律性を持った品格ある女性になろうと思う人の入学を求めている。</p>					
<p>学科AP</p>	<p>子どもへの深い愛情と理解にもとづいて、保育者になる強い希望と自覚を持っている人、また常にあたたかい気持ちを持ち、社会貢献に努めようとする人</p>	<p>「自分」を見つめる人、描く・作る行為に充実感(自己の存在)を感じる人、他人に思いを至らせることのできる人、自然を愛する人</p>	<p>自然と音楽の結びつきを感じながら感性豊かな音楽を奏で、将来音楽関連の職業につきたいという強い希望を持っている人、または音楽が大好きで勉強を続けたいと思う人</p>	<p>歯科衛生士として保健・医療・福祉の分野で貢献する意欲を持ち、また医療人になるための社会性や協調性を備えた人間性豊かな人</p>	<p>看護職への高い志をもち、人を思いやる心とコミュニケーション能力を備えた人。また看護職としての責任を果たすために必要な基礎学力を有し、自己の向上に向けて努力できる人</p>	
<p>学科教育目標</p>	<p>豊かな教養と人間性を備え、幼児教育・保育における専門的な知識と技能を身につけ、これに基づいて社会が必要とする保育者として、地域と連携し様々な課題に対応できる教育・保育と子育て支援にあたることのできる人材を育成する。</p> <p>1.子どもに深い愛情を持ち、その健やかな成長を見守り、支援できる保育者の育成</p> <p>2.社会的な課題への問題意識を持ち、その解決のために努力する保育者の育成</p> <p>3.コミュニケーション能力を備え、地域に根ざした子育て支援のできる保育者の育成</p> <p>4.保育現場における実務能力を有し、地域と連携し様々な課題に対応できる実践力のある保育者の育成</p>	<p>「美術」の理解と表現指導を通し、思考、感受、行動に反映できる個人を育成する。</p> <p>1.基礎表現技能の修得及び基礎理論、美術史概要の理解</p> <p>2.個人の能力と特性を見据えた造形表現力の育成</p> <p>3.美意識に基づく社会、自然観の養成</p> <p>4.美術を通して地域連携、貢献を考えられる女性の育成</p>	<p>音楽の専門知識と技術を修得し、さらには音楽を通して教養と豊かな人間性を養い、音楽活動を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材を養成する。</p> <p>1.基礎的な音楽知識の習得、および専門楽器の技術をもつ人材の育成</p> <p>2.音楽に関する学びを通して関連する歴史や自然に対する学びを同様に深め、豊かな教養と人間性を持つ人材の育成</p> <p>3.音楽活動や演奏を通じて人とコミュニケーションをとることができる人材の育成</p>	<p>豊かな教養と人間性を備え、口腔保健・医療・福祉の立場から人々の健康で幸せな生活の実現のため、専門的知識および技術をもって広く社会貢献し、さらに他医療職種とも連携を取ったチーム医療を実践できる人材を育成する。</p> <p>1.すべてのライフステージにおける対象者に口腔の健康を支援できるための専門知識、全身に関わる医学的知識、および倫理観を持つ歯科衛生士の育成</p> <p>2.対象者の口腔の健康問題に対して、歯科衛生士の立場から支援できる歯科衛生士の育成</p> <p>3.人間関係形成に必要なコミュニケーション能力を備えた歯科衛生士の育成</p> <p>4.地域との連携や地域貢献を推進していく能力を備えた歯科衛生士の育成</p>	<p>豊かな教養と高い倫理観に裏づけされた看護の専門的知識・技術を身につけ、変化する社会のニーズに対応し広く貢献できる人材を育成する。</p> <p>1.健康のあらゆるレベルにある対象者に適切な看護を実施できるための専門的知識、及び人間理解に伴う倫理観と共感性をもつ看護師の育成</p> <p>2.対象者の健康問題に対して看護の立場から援助できる看護師の育成</p> <p>3.人間関係形成に必要なコミュニケーション能力を備えた看護師の育成</p> <p>4.地域との連携、地域貢献を推進していくための素地を備えた看護師の育成</p> <p>5.専門職として自律心をもち、自己啓発できる看護師の育成</p>	<p>【各学科の教養教育の目標】</p> <p>[幼児教育科] 将来の保育者として日本文化を受け継ぎ、人間(子ども)を理解し、総合的な視点から現代の諸課題に対応するため、専門科目を究める自律的な学習態度を身につける。</p> <p>[デザイン美術科] 知識欲、思惟、感性を刺激し、美術表現を一層豊かにするための素養を身につける。</p> <p>[音楽総合科] 音楽に関する専門科目の学習を充実させるための、これにつながる基本としての学問的な知識や技能を身につける。</p> <p>[歯科衛生科] 医療、保健福祉分野で活躍する医療人となるための、専門性に繋がる基本的知識・技能、問題発見・解決の能力、コミュニケーション能力、社会的行動様式を身につける。</p> <p>[看護学科] 多様化する高度医療や地域・在宅看護に対応するための基盤となる豊かな人間性とコミュニケーション能力、問題解決能力を身につける。</p>

到達指標	<p>1.[保育者観]保育者として専門的知識・技能を持ち、子どもの健全な成長を見守り、地域と連携し様々な課題に対応できる子育て支援ができる。</p> <p>(1)子どもの年齢による発達の特徴を理解し、それに基づいた指導計画を作成できる。</p> <p>(2)保護者と共に子育てしていく姿勢を基に、適切な保育相談支援ができる。</p> <p>(3)幼児教育・保育に関わる課題に気づき、それを分析し判断することができる。</p> <p>2.[知識・技能]子どもの健やかな成長のために様々な分野における教育・指導ができる。</p> <p>(1)豊かな感性と表現力を養い、理想の保育者像を常に描き、研鑽に努めることができる。</p> <p>(2)子どもの成長発達に応じた遊びや生活の課題について、その指導や保育技術を活用して支援ができる。</p> <p>(3)これまでの学びの集積を自覚し、成長したことを具体的に示すことができる。</p> <p>3.[保育実践力]保育現場における実務能力を身につけ、実践できる。</p> <p>(1)一人ひとりの子ども理解に応じた援助や環境構成ができる。</p> <p>(2)実践の後に常に自らの言動を振り返り、新たな方法や手だてを行うことができる。</p>	<p>1.[表現力/技術、技能の習得]美術分野における表現力と表現技術に向上が見られる。</p> <p>(1)作品制作、文章表現の中で工夫や努力がなされ、表現物に質的向上が認められる。</p> <p>(2)技能が修得され、表現技術の向上がある。</p> <p>(3)目的を自覚でき、授業外での学習や資料収集の習慣が育っている。</p> <p>2.[理解力、探究心]理論と実技を通し、美術分野への理解と関心に深まりがある。</p> <p>(1)知識の吸収に努めることができる。</p> <p>(2)理論的理解ができる。</p> <p>(3)制作にあたり物事の判断を安易にせず、試行錯誤ができる。</p> <p>(4)柔軟且つ客観的に「美術」を解釈でき、日常の思考や感性に生かされている。</p> <p>3.[集中力、持続力]集中力、持続力に向上がある。</p> <p>(1)集中力を持って学習に臨める。</p> <p>(2)主体性を持ち、継続して課題に取り組める。</p> <p>4.[発表、批評、社会性]美術表現より育まれた個の自信を基に、他者への尊重と交流、また社会認識を深め、地域連携、貢献ができる。</p> <p>(1)課題について自己の主張を作品又は文章上で表わせる。</p>	<p>1.[基礎的知識・技能]基礎的な音楽知識の習得、および専門楽器の技術を持っている。</p> <p>(1)音楽史、楽典、聴音と視唱(ソルフージュ)など基礎的な音楽知識を身につけている。</p> <p>(2)個々の音楽性が表現されたソロ、アンサンブルができる。</p> <p>(3)自身の技術について客観的な視点を持ち、継続的な努力ができる。</p> <p>2.[感受性]芸術に対する優れた感受性を持っている。</p> <p>(1)幅広い分野の音楽に触れ、偏らない広い視点から学ぶことができる。</p> <p>(2)音楽分野全般の理解と関心に深まりがみられる。</p> <p>3.[教養・人間性]音楽に関する学びを通して関連する歴史や自然に対する学びを同様に深め、豊かな教養と人間性を持つ。</p> <p>(1)自分の専攻以外の楽器にも触れ、多角的に音楽を理解することができる。</p> <p>(2)音楽の生まれた背景や時代について学び、深く作品を理解、表現することができる。</p> <p>4.[コミュニケーション能力]音楽活動や演奏を通じて人とコミュニケーションをとることができる。</p> <p>(1)演奏を指導される体験あるいは指導する体験から音楽</p>	<p>1.[知識・思考力]全身的観点から口腔の健康支援ができるために必要な知識を修得し、理解できる。</p> <p>(1)全身と口腔の健康の関連を医学的に説明できる。</p> <p>(2)口腔疾患を予防し、口腔保健を向上させるために必要となる基本的な知識を身につけることができる。</p> <p>(3)歯科衛生士としての専門性に繋がる教養の基本的知識を修得し、応用できる。</p> <p>2.[基本的技術能力]歯科衛生士としての基本的な操作的技術能力やプレゼンテーションをする力がある。</p> <p>(1)口腔の健康やリスクを評価し指導計画を立て、対象者に説明できる。</p> <p>(2)口腔疾患の予防のための基本的な施術や適切な口腔衛生指導が実施できる。</p> <p>(3)安全な歯科医療を提供するため、基本的な手技を行うことができる。</p> <p>3.[コミュニケーション能力]歯科衛生士として他職種と協働・連携するチーム医療が理解でき、患者や地域社会とも関わるコミュニケーション能力がある。</p> <p>(1)歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、他の医療従事者との連携ができる。</p> <p>(2)地域歯科保健の維持・向上</p>	<p>1.[知識・思考力]看護の基盤となる人間理解と看護実践に必要な知識を習得し、人々の健康問題の解決に向けて論理的に考えることができる。</p> <p>(1)看護の基盤となる幅広い教養と専門的知識を修得し、看護実践に応用することができる。</p> <p>(2)生命の尊厳と人権尊重の理解を深め、看護場面における倫理的問題について、原則を適用して考えることができる。</p> <p>(3)守秘義務を遵守し、個人情報保護ができる。</p> <p>(4)人々の健康と生活に関する問題の解決に向けて、科学的根拠に基づいて論理的に考えることができる。</p> <p>2.[看護実践能力]看護活動に必要な専門的技術・コミュニケーション能力・態度を身につけ、看護を実施できる。</p> <p>(1)対象に応じたコミュニケーション技法を活用し、援助的人間関係を築くことができる。</p> <p>(2)根拠に基づいた適切な看護技術を選択し、対象に応じた実施ができる。</p> <p>(3)多様な価値観を持つ対象の思いや価値観を尊重し、共感できる。</p> <p>3.[協働・協調能力]チーム医療における他職種との連携・協働の必要性を理解し、保健医療福祉チームメンバーとしての看護職の役割およびリー</p>	<p>共通教養教育における教養科目の到達指標は次のとおりとする。</p> <p>1.[知識や技能]語学や機器の活用など社会変化に対応していくために基本となる知識や技能を身につけることができる。</p> <p>2.[人間の理解]人間についての理解を深め、在り方や生き方など現実の課題等に結びつけて考えることができる。</p> <p>3.[専門学習の基盤]専門的な学習の基盤となる共通の幅広い学問的な知識や技能などを身につけて、総合的な判断力の基礎を培うことができる。</p> <p>4.[社会人に必要な力]社会人に必要な基本的な知識や技能、行動様式、コミュニケーション能力、就業力等を身につけて社会性の基盤を培い、これを地域連携や貢献にも活用できる。</p> <p>5.[興味関心や意欲]学習内容に興味や関心を持ち、主体的、意欲的に取り組むことができる。</p>
------	--	--	---	---	--	--

到達指標	<p>(3)様々な価値観や地域の特性に対応できる柔軟性を身につけることができる。</p> <p>4.[社会人基礎力]豊かな教養と人間性を備え、社会人としての幅広いコミュニケーション能力を身につける。</p> <p>(1)社会人基礎力を備え、社会的課題や時事問題に関心を持ち、理解しようとする。</p> <p>(2)社会に貢献する使命感と責任感を持って、様々な課題に対応するため地域と連携し、積極的に行動することができる。</p> <p>(3)職業や社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につけ、誰とでも柔軟に関わることができる。</p>	<p>(2)課題について自己の主張を口頭で説明できる。</p> <p>(3)他者の作品を評価できる。</p> <p>(4)学習が個人にもたらす意味、及び社会的意味を理解できる。</p>	<p>を通じて人とコミュニケーションをとることができる。</p> <p>(2)学外演奏、ボランティアなどの機会を積極的に持ち、音楽が人に与える影響を理解し、演奏や音楽活動によって人と関わることができる。</p> <p>(3)他者の演奏についても問題点と同時に評価を与えられる客観的な視点を持つことができる。</p>	<p>のため、地域住民の視点に立ちコミュニケーションがとれる。</p> <p>(3)職業や社会生活に必要なコミュニケーション能力を身につけ、幅広く柔軟に対応できる。</p> <p>4.[自律性]医療人としての自己管理ができ、将来に向けての職業的使命感を持てる。</p> <p>(1)人々の口腔の健康を守ることで、人の心と体を守ることに寄与する歯科衛生士の職責への十分な自覚を持ち、医療人としての自己管理のもとに対象者本位の立場で対応ができる。</p> <p>(2)歯科医療において自ら問題点を探し出し、自己学習によってそれを解決するための能力を培うことができる。</p> <p>(3)地域社会に貢献する歯科衛生士の使命感を持って積極的に行動できる。</p>	<p>ダーシップの重要性を認識できる。</p> <p>(1)保健・医療・福祉チームにおける他職種との連携や協働の必要性が認識できる。</p> <p>(2)専門職としての責任感と自己管理能力を身につけ、将来に向けた職業的使命感をもつことができる。</p> <p>(3)講義や臨地実習を通してチーム医療における看護師の役割を理解し、連携・調整・仲介をするためのリーダーシップについて考えることができる。</p> <p>4.[自律性]保健・医療・福祉関連分野の動向に関心をもち、人々の健康生活を守り、地域との連携、地域貢献を推進していくために自己の知識や技術等の向上をめざして主体的かつ探求的な姿勢をもつことができる。</p> <p>(1)国内外の保健・医療・福祉関連分野の動向、新しい情報に関心をよせ、看護職としてのあり方を考えることができる。</p> <p>(2)医療施設と地域との連携における諸問題を見出し、問題解決の方法を考えることができる。</p> <p>(3)自己の興味・関心・問題意識に関する事柄について主体的に情報収集し、探求できる。</p>	
------	--	--	---	--	--	--